

女性社員訪問³³ 私たちはいま

(株)西の丸
甲斐千夏さん



プロフィール (かい ちなつ)
2006年に新卒入社し、西の丸シーワン店へ配属。以降、店舗スタッフとして活躍するなか、産休・育休を取得し一児の母となる。復帰後、昇格のための研修を経て2018年1月にチーフアシスタントに昇格し、現在、女性役職者としてホールの現場で社員教育、接客力向上に注力している。

人間観察が大好き。家族の強力な支援に支えられて役職もできていると感謝でいっぱい

人材育成委員会主催の「第3回女性活躍推進フォーラムin福岡」(2018年12月13日)に参加した甲斐さんにお話を伺った。キャリアプランニングをテーマに5か月間、他社メンバーと取り組んだ。甲斐さんは育児休暇から復帰後、昇格試験に挑戦し役職(チーフアシスタント)になった。この一年は仕事観が大きく変化した期間だったと言う。

——甲斐さんのチームは、ご自身たちの経験から「将来像をより明確にして仕事を楽しく、その結果

が離職率低下につながる」という前提で課題解決への取り組みを提案されました。動画を差し込んだりして、これまでにない新しいプレゼンテーションをされていたのが印象的でした。

甲斐 プレゼンの一部は動画の方がずっと分かりやすくなると思う、社内でも相談してみたところ、常務がサプライズで作ってください、ありがたかったです。

——観た側からもやりたいことがどんなものかよく分かりました。

甲斐 プレゼンに組み込んだツールは実際当社でも使っていて、私自身が自分で描く将来像をこれまで以上にはっきりできたことが、人生や仕事への意欲に大きな変化を生みました。それが将来的には離職率の低下をはじめ、会社にもいろいろな好影響を与えていると思うので、Cグループのメンバーに提案してみました。

本当は人見知りだった

甲斐 私、本当はとても人見知り

だったんです。入社して3か月くらいは、指導してくださる先輩としかお話できませんでしたし、一年目はお客様とのコンタクトも実は怖かった。

——今の甲斐さんからは想像できません。

甲斐 先輩たちが例えばお客様へお声がけする一番良いタイミングを教えてください、お客様の特徴を伝えてくれたり、私自身も苦手と思わず工夫してチャレンジしました。そしていつの間にか13年もたってしまったって、お客様には「もう20年も働いているんじゃない?」とからかわれるくらいの関係性になりました。思わず弱音を吐きたくなる時もありますが、お客様と接していると楽しくなりますね。

——仕事が楽しいと、産休・育休からは迷わず復帰を選ばれたのでは?

甲斐 私自身は、子どもを抱えて仕事をするのは無理だと思っていたのです。ところが夫が、10年ちかくも働いてきてもったいない。手伝うから働き続けてはどうか、と言ってくれました。近くに住む親も、相談したら手伝ってくれるというので職場復帰を決断しました。実家は本当に「神」レベルのサポートをしてくれるんですよ。こうして応援してくれる人がいると、

私もがんばろう、という気持ちになります。

「責任感が増しました」

——実際復帰していかがでしたか？

甲斐 仕事への向き合い方、取り組み方が大きく変わり責任感が増しました。子どものために、という思いに加えて、「子どもがいるからできない」とやる前から諦めたくなかったですし、復帰してもこれまでと変わらない仕事への姿勢を見て、自分もがんばろう、と思ってもらえたらいいなという気持ちもありました。復帰した最初がきついで、慣れたらなんとかなるというのが実感です。自分のためにはがんばれませんが、家族

夫と実家の強力支援受け 育休復帰翌年、管理職に

のためにはがんばれますよ。

——育休から復帰した翌年2018年に管理職のチーフアシスタントになったそうですが。

甲斐 女性リーダーを増やしていくという会社の方針があり、女性スタッフみんなにそういった会社の意志がいろいろな形で伝えられてくるなかで、仕事の幅が広がり自由度も上がるのがわかり、それならやってみようかな、という気持ちになってきました。一緒に働いている後輩が「先輩がまずやってくれるなら、その後を追いかけていけるのですが」と言ってくれたのもきっかけの一つでした。

——昇進を目標にしていたわけではなかったのですか。

甲斐 はい、正直なところ、チーフアシスタントは何をするのかわからないし、お客様と接しているのが何より楽しかったのも、でも、なってみると見えるものが違ってくるし、やれることも広がって、おもしろいのです。役職になりたい人をどんどん引っ張り上げたいのですが、これは今後の目標ですね。

——ハードルが高いのでしょうか。女性は他社と比べても多くいらつしやいますか。

甲斐 挑戦した後、つまり役職になった後のことを知らないから誤解しているのかもしれないですね。長時間働くことになるのかもしれない、覚えることがたくさんある、カウンター業務では必要がなかったから機械系は得意じゃないし…と、できない理由がたくさん出てきます。仕事の内容のわからなさ、私も感じていたことです。

女性の役職者育てたい

——今、二の足を踏んでいる方たちの気持ちがきつとよく分かるのでしよう。

甲斐 そうですね。チーフアシスタントになる半年間の勉強の中で、会社からは、できないことをやるようになれ、ではなく「できることを伸ばしていったほしい」と言われました。難しいと思っていながら機械のことも、基本を抑えていてお客様からの質問にお答えで

(株)西の丸

1976年12月設立。宮崎県に10店舗のパチンコホールを経営するほか、飲食事業などを展開。「『個人も会社も、人を幸せにさせて頂く為に存在するもの。』という創業の精神」(同社ウェブサイトより引用)が、各方面で発揮されている。正社員の女性比率が36%と非常に高い(日遊協平均と比較)。

きる程度の知識があれば良いですし、それ以上のことは必要に応じて学んでいけば良いと言ってくれています。

——無理がないですね。

甲斐 私の仕事は、女性の役職者を育てることだと思っています。当社には役職者になれるセンスや能力を持っている女性が多くいるので、一歩を踏み出すきっかけを作っていくたいです。私は役職者になって良かったと思うことを多く経験していますが、そればかり話しても信じてもらえないので、たまにあるしんどいことも正直に話しています。話に共感して、次々と役職者になる方が出てくると良いなと思っています。

——ここまでお話を聞いてきて、うらやましいほど人が温かい会社という印象を持ちました。

甲斐 私にとってはわくわくする会社です。働き続けられ続けるほど良いところが発見できる会社です。だからこうして長く働けているのだと思います。

(構成／佐藤聖子 広報調査委員会)

人材育成施策など

創業精神の反映の一つである謝恩活動「一善の会」を通して、人や自然、地域社会へ感謝する心を育てている。同時に社内外の研修を充実させ、自律的な人材育成に努めている。女性社員の育児休暇取得率は100%で、社員が安心して長く働ける環境づくりに取り組んでいる。2015年～2019年の「一般事業主行動計画」を策定し、現在目標達成に向けて各種対策を実施中。

